

2025年度IRCプロジェクト活動報告書

1. プロジェクト申請所員名

- 1.申請所員： [外川 昌彦]

2. プロジェクト名称

- 2-1.プロジェクト名称（和）： [日本画家荒井寛方のインド滞在日誌・スケッチ（1916-18）のデジタルアーカイブ化]
- 2-2.プロジェクト名称（英）： [Digitally Archiving Kampo Arai's Diary and Sketches in India (1916-18)]

3. プロジェクト代表者（・副代表者）名・所属

- 3-1.プロジェクト代表者： [外川 昌彦]
- 3-2.プロジェクト代表者所属： [AA研]

4. プロジェクトの参加者名・所属

- 4-1.プロジェクト参加者1： [河合力]
- 4-2.プロジェクト参加者1所属： [寛方・タゴール会]

5. 今年度のプロジェクト活動報告

- 業者堀内カラーとの打ち合わせを行い、日本画家荒井寛方のインド滞在日誌・スケッチ（1916-18）のデジタルアーカイブ化データベースの仕様について、以下のように詳細を詰めた。/2024年度に日本語版のWebコンテンツを製作し公開に至ったので、2025年度はこれに基づく英語版コンテンツを製作する。具体的には、2024年度製作の日本語版の構成に原則沿って、今年度はコンテンツの一部の改修を実施する。内容は次とする。「トップページ」「プロフィール」「背景」「関連資料（一覧）」の4つのページについて英文ページを作成する。「印度日誌 翻刻文」はページ内で発注者が提供するPDFのリンクを貼ることとする。「スケッチ画像一覧」「関連資料」のページもテキストを英文に置き換える。ページ移動などのユーザーインターフェースの英語化は一般的な用語で、製作者側で試作し、発注者が校正を行う。「操作案内ページ」の英文は製作者側で案を提示し、発注者が校正を行う。公開済みの資料画像、ページの装飾画像については日本語版用と共用する。ただし、日本語を含むタイトル画像などは英語版専用で作成する。日本語版コンテンツをURLの /jp/ フォルダ以下に変更すること。英語版のURLを /en/ フォルダ以下に構成する。言語毎にページにボタンを設け、日本語版と英語版のIndexページについては相互切替を行えるようにする。2024年度製作分について、一部のメタデータの更新を行う。これらを踏まえて、データベースシステムを発注した。システム構築の過程で、資料のデータ化と公開についての技術的な意見交換を行ながら、新たな資料データを加えて、現行の掲載内容の精査を行うことで、データベースシステムを構築した。

6. プロジェクトの成果となるオンラインリソースの名称・公開URL

- 6-1.成果物1名称（日本語）： [日本画家荒井寛方のインド滞在日誌・スケッチ（1916-18）のデジタルアーカイブ]
- 6-2.成果物1名称（英語）： [Digital Archive of Kampo Arai's Diary and Sketches in India (1916-18)]

- 6-3.成果物1名称（その他あれば）： []
- 6-4.成果物1公開URL： [<https://kampo.aa-ken.jp>]